廿日市市犯罪被害者等助成金支給申請書

　　年　　月　　日

（申請先）廿 日 市 市 長

申請者　住所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（※）

（※) 本人が手書きしない場合は、記名押印してください。

電話

被害者との続柄

１　次のとおり、廿日市市犯罪被害者等助成金の支給を申請します。

|  |  |
| --- | --- |
| 申請内容 | □家事・介護費用助成金□一時保育費用助成金□転居費用助成金 |
| 申請履歴 | 同一事件でこれまでに助成金の申請をしたことが　有 ・ 無 |
| 有の場合　（　　　　 　　　　　　　　　　　　　　） |

２　申請理由等

|  |  |
| --- | --- |
| 助成金 | 理由・内容 |
| 家事・介護費用助成金 | 必要とした理由 |  |
| 利用時間 | 家事　　　　　時間介護　　　　　時間 |
| 一時保育費用助成金 | 必要とした理由 |  |
| 保育対象者 | 氏名　　　　　（　歳）申請者との続柄氏名　　　　　（　歳）申請者との続柄氏名　　　　　（　歳）申請者との続柄 |
| 利用日数 | 　人×　　日　　　人×　　日　人×　　日 |
| 転居費用助成金 | 必要とした理由 |  |
| 従前住居の住所 |  |
| 新たな住居の住所 |  |

３　助成金を支給しない場合に関する確認事項

(1)　犯罪行為が行われたときにおいて、犯罪被害者又は第一順位遺族と加害者との間に親族関係（事実婚・パートナーシップの関係を含む。）にないか。

　　　□はい　□いいえ

(2)　当該犯罪行為において、犯罪被害者又は見舞金の支給を受ける者の責任に帰すべき行為（犯罪を誘発したなど）はないか。

　　　□はい　□いいえ

４　申請事項に係る調査等への同意等

(1)　廿日市市暴力団排除条例（平成２４年条例第２号）第２条第２号に規定する暴力団員等でないことを、警察当局へ照会すること。

□　同意します。

(2)　助成金支給にかかる申請内容に虚偽がないことを認め、また本要綱を遵守し、助成金の支給後に虚偽その他不正な手段による支給であったと市長が認めた場合には、助成金を市に返還すること。

□　同意します。